

# 図書館だより

第97号 令和7年7月発行



独立行政法人国立高等専門学校機構

**都城工業高等専門学校**

National Institute of Technology (KOSEN), Miyakonojo College

## 目 次

|                                                      |                |    |
|------------------------------------------------------|----------------|----|
| 「読書と私 3」                                             | 校 長 田村 隆弘      | 1  |
| 「音楽をテーマとした作品紹介」                                      | 図 書 館 長 笹谷 浩一郎 | 3  |
| 「着任のご挨拶」                                             | 一般科目文科 佐々木 陽太  | 5  |
| 「ご推薦本：『運を育てる 一肝心なのは負けたあと一』<br>米長邦雄クレスト新社 1993 年 7 月」 | 一般科目文科 栢山 剛    | 8  |
| 「BOOK HUNTING2025」                                   |                | 10 |
| 図書委員による、夏のオススメブックレビュー                                |                | 11 |
| 図書アンケート                                              |                | 14 |
| 編集後記                                                 |                | 20 |

## 読書と私 3

校長 田村 隆弘

図書館だよりへ3度目の寄稿です。

本年度の始業式では、昨年度の終業式で皆さんにぜひ考えてくださいとお願いしていた「社会の一員としての自分とバタフライエフェクト」について、中村哲さんの言葉を紹介する形で解説しました。私は、勿論この中村哲さんと直接出会ってお話したことはないのですが、彼の著書の中に私が共感できる言葉との出会いがあり、ぜひ、学生の皆さんに「社会の中で生きる自分」について参考にして頂きたいと「天、共に在りアフガニスタン 30 年の闘い」という本の「はじめに」の中にある言葉を引用させて頂きました。本当に素晴らしい言葉がたくさん出てくる本ですが、ここでもう一つ、この本の「終章」に出てくる以下の文章も紹介したいと思います。「戦争と平和」について書かれた所です。



「そして、『信頼』は一朝にして築かれるものではない。利害を超え、忍耐を重ね、裏切られても裏切り返さない誠実さこそが、人々の心に触れる。それは、武力以上に強固な安全を提供してくれ、人々を動かすことができる。私たちにとって、平和とは理念ではなく現実の力なのだ。私たちは、いとも安易に戦争と平和を語りすぎる。武力行使によって守られるものとは何なのか、そして、本当に守るべきものとは何か、静かに思いをいたすべきかと思われる。」

実際に戦場と早魃の中に身を置き、人間の生と死を見つめ、多くの人命を救うプロジェクトを実践してきた人だからこそ湧き上がってくる、人として生きる上で大切な言葉であり、彼の信念が散りばめられた本です。

なぜ、彼がこれほどまでに本質的な言葉を語ることができるのか。それは、彼の言葉が実践や経験に基づく言葉だからでしょう。彼は、人の命を救うために医者となりますが、研鑽を積む中で、アフガニスタンで大量の感染症で人が命を無くしている現状を知ります。戦火の中、自ら先頭に立ち感染症対策として井戸を掘り、灌漑用の水路を建設します。安全な水を安定的に供給することで感染症を抑制し、多くの命を救うという彼のシナリオは的確で、数万人の命が救われたと言われています。

この本と出会った後、私は彼のことがもっと知りたくなって、彼のその他の書籍「わたしは『セロ弾きのゴーシュ』」や、「医者よ、信念はいらない、まず命を救え！」



なども読んでみました。

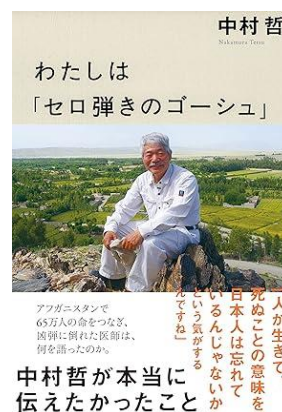
「セロ弾きのゴーシュ」は、宮沢賢治の童話です。これを本のタイトルにしたところは彼のウィットですが、優秀な医者になることを目指していたところが、いつの間にか井戸を掘っていたりする自分に、人が生きていく中では何が起こるかわからないといった人生の不思議を表現したものでしょう。

「医者よ、信念はいらない、まず命を救え！」は、中村哲さんの講演の記録や講演後の質疑応答などが記されています。例えば、「先生を動かす原動力、モチベーションは何ですか。」という質問に、彼は「ある状況に置かれたときに、その人がどう対応するかという問題です。こうしてあげたらいいだろうとか、こうしたら少しは相手が楽になるだろうとか思う気持ちが多少でもあれば、僕はどこに行っちゃいいと思うんですよ。」と応えています。

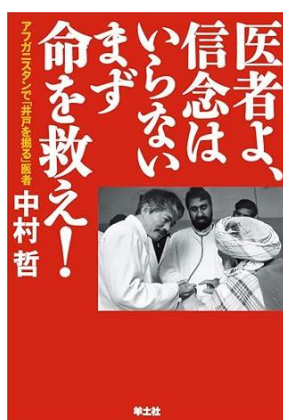
知識や技術は何のためにあるのか、いずれも実践があつてこそ価値があります。皆さんは何のためにここ都城高専で学んでいますか、ぜひ彼の本を手に取り、読んでいただくことをお勧めします。



『天、共に在り アフガニスタン 30年の闘い』  
中村哲 著



『わたしは『セロ弾きのゴーシュ』』  
中村哲 著



『医者よ、信念はいらない、まず命を救え！』  
中村哲 著

## 音楽をテーマとした作品紹介

図書館長 笹谷 浩一郎

みなさん、こんにちは。4 月から図書館長を務めさせていただいている一般科目の笹谷です。どうぞよろしくお願いします。

私は読書も好きなのですが、音楽を聴きながらのウォーキングも大好きです。ですから、書店や図書館で音楽をテーマにした文学作品に出会うと、とても得をした、幸せな気分になります。今回はそうして出会った作品のいくつかをご紹介します。

恩田陸著「蜜蜂と遠雷」。この作品には、国際ピアノコンクールに出場する若いピアニストたちの栄光、挫折、葛藤、希望が描かれています。家業の養蜂の仕事を手伝いながら、極めて独創的な演奏で専門家からの賛否両論を巻き起こす 16 歳の少年、かつて天才少女と称され、多くのコンクールで活躍しながらも、母親の死をきっかけにピアノから遠ざかっていた 20 歳の女性、一度はプロの演奏家になることをあきらめながらも、家族を支えるために会社勤めをしながらピアノを弾き続ける 28 歳の男性、複雑な少年時代を過ごしながらも才能を見出され、アメリカの名門大学で学び、優勝候補の本命と目される 19 歳の男性。年齢、境遇、立場はそれぞれ異なりますが、さまざまな苦労、葛藤を乗り越え、演奏家としての喜びを見出すまでのストーリーに胸が熱くなります。直木賞と本屋大賞をダブル受賞した最初の作品で、この作品を原作とする映画も評判となりました。

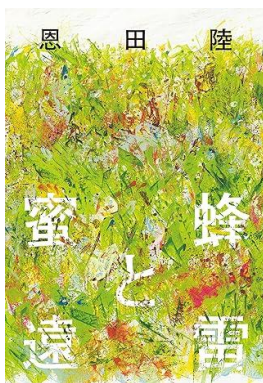
塩田武士著「女神のタクト」。タクトとは、クラシック音楽の指揮者が振る指揮棒のことですが、メインキャラクターの一人である「拓斗」という指揮者の名前とかけてあります。いろいろあって東京の会社を辞め、心の傷をいやすために神戸を訪れた主人公の女性が、ある出会いをきっかけに落ち目のオーケストラの再生に関わっていくというストーリーです。再生のカギとなる拓斗という指揮者は、ある公演での失敗がトラウマとなり、それ以来音楽に背を向けて生きてきたのですが、音楽に対する複雑な思いを秘めた主人公の言動に振り回されるうちに、音楽に対する情熱を取り戻していきます。クラシック音楽やオーケストラの魅力の一端を味わうことができる楽しい作品です。

赤澤竜也著「吹部！」。吹部とはもちろん吹奏楽部のことです。私が中高生だった頃は、吹部ではなく、「ブラバン」と呼ばれていました。私はずっと大人数の編成によるフルオーケストラの交響曲を好んで聴いていて、吹奏楽なんてオーケストラから弦楽器を抜いたものだろ、くらいの偏見をもっていました。しかし、高校野球とかかわるようになって、スタンドで響き渡る吹奏楽の魅力に取りつかれるようになりました。みなさんも本校の吹部の演奏の素晴らしさはご存じですよ。（余談に

なりますが、本校創立 50 周年記念行事で講演された元宇宙飛行士の毛利衛さんが、「この学校の吹奏楽部は素晴らしい。学校のたからものです」と絶賛されたことを思い出します。)この作品の舞台は、あまり演奏の上手でない、ぱっとしない高校の吹部で、主人公は新たに赴任した顧問教師に無理やり部長にされてしまい、途方に暮れている高校 2 年生の女子です。かなりへんてこりんな先生と、個性豊かな部員たちとのあいだに生じる化学反応が楽しくて、ページをめくる手が止まりませんでした。

内田英治著「異動辞令は音楽隊！」。高専や高校の吹部の演奏もいいものですが、警察や自衛隊の音楽隊の演奏も聴くとテンションが上がります。制服姿もかっこいいですね。この作品では、犯罪捜査一筋の刑事が、ある出来事を理由に捜査担当を外され、県警の音楽隊に異動させられることになります。音楽に全く興味のなかった彼は音楽隊でも周囲になじめず戸惑うばかりで、なぜかドラムス担当にされてしまいます。そこに現れるのが音楽隊で好きな音楽を続けるために警察官になったという経歴を持つひとりの女性です。普段は交通課職員として勤務しながらも、音楽への情熱を捨きれない彼女の思いが演奏を通じて主人公に伝わり、悪戦苦闘しながらも、やがて音楽にのめりこんでいく姿が読者の胸を打ちます。

みなさんの興味を引くような作品があったでしょうか。これ以外にも、みなさんに紹介したい作品がたくさんあります。みなさんも音楽をテーマにした面白い作品をご存じでしたら、ぜひ私に教えてください。



『蜜蜂と遠雷』  
恩田陸 著



『女神のタクト』  
塩田武士 著



『吹部！』  
赤澤竜也 著



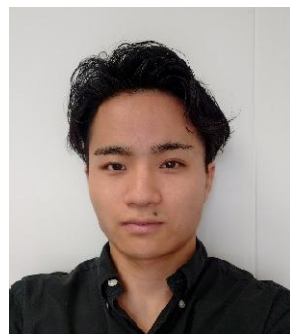
『異動辞令は音楽隊！』  
内田英治 著



## 着任のご挨拶

一般科目文科 佐々木 陽太

みなさんはじめまして。本年度より本校一般科目文科に着任しました佐々木陽太と申します。現在は「英語コミュニケーションⅠ」と「英語Ⅱ」の授業を担当させていただいております。このたび「図書館だより」にて私の推薦書を紹介する機会をいただきました。着任のご挨拶に代えて小稿をしたためさせていただきます。



さて、ここに寄稿するにあたっては、もちろん図書を紹介しなければなりません。さらに、冒頭「着任の挨拶と代えさせていただきます。」と縛りを設けてしまいましたので、挨拶にふさわしいことを書き綴らないといけなくなりました。ということで、ここでは私がどんな人間なのか、普段どのようなことに興味関心があるのかについてすこしお話しできたらと思います。幸いにも私は「読書メーター」というアプリを使っており、その時の感情や考えたこととともにこれまで読んできた本がまとめられております。今回はその中から 2 冊推薦させていただき、並行して私がどんな人間なのかについてすこしお話しできればよいかと思います。

### 1. 松原始. (2023). カラスは飼えるか. 新潮社.

幼少の時から、私は生き物が大好きでした。彼らは素朴な感情や欲望で行動している（ように見える）ときがあり、その素直さが大変愛おしく思えてならないのです。もし私に数学のセンスがあれば、きっと生物系の学部に進学していたと思います（この学校にいて何なのですが、私はきっぱりあきらめがつくほど数学（というか算数）ができません。みんなすごいなと思います。）。

そんな私がカラスという生き物にハマりだしたのはおそらく中学生のころだったかと思います。きっかけはどのようなものだったかもう覚えていませんが、私はカラスを見るたびに「仲良くなれないかなあ」と考えるようになってしまっていました。そんな私の目に留まり、すぐに購入したのがこの「カラスは飼えるか」というエッセイです。

この本の著者は松原始さんという動物行動学の研究者で、カラスの生態や行動、そして進化を研究テーマにされています。この著者プロフィールを見たときに、一瞬「かわいい表紙だったけど、中身は難しいのかな」と身構えました。しかしそんなことは杞憂で、計 5 章にわたって軽妙な語り口でエッセイがつづられています。しかも、登場動物はカラスだけではなく、ニワトリ、タカなどの鳥や、ニホンザル、果ては恐竜まで、さまざまな視点やトピックから動物たちについて語られます。個人的に最もおすすめの章は、第 2 章「カラスは食えるか」です。かなり物騒なタイトルがついているこの章では、鳥類食を切り口に様々な文化について触れられています。筆者曰く結論としては、「まあ食べられないことはない」そうです。なぜそんな歯切れの悪い回答になっているかは、ゼ

ひご自身の目で確かめていただければと思います。

さて、そんなカラスですが、実は古くから神の使いとして世界各地の文化圏で崇められてきた歴史があります。確かに、黒々とした羽根(濡羽色という言葉もありますね)や、ガアガアというしゃがれた鳴き声は呪術的な魅力を感じます。そんな魅力に惹かれてか、実際にカラスを飼う人は少なからず存在するようです。そんな中で、ある有名人もカラスを飼っていたそうです。

## 2. 岡本太郎.(2017). *自分の中に毒を持て* 新装版. 青春出版社.

「ガア公」と名付けられたカラスを飼っていたというエピソードが残る岡本太郎は、そのキャリアの最初期から世間の大きな関心を集めました。「森の掟」(1950)、「坐(すわ)ることを拒否する椅子」(1963)、「明日の神話」(1968-1969)、「太陽の塔」(1968-1970)など、彼は絵画や彫刻、そしてデザインなどで多くの大作を遺した人物として知られています。ちなみに私は「装える戦士」(1963)が彼の作品の中で一番のお気に入りです。

彼は、「静-動」、「死-生」、「無-有」といった真逆のテーマを同じ作品の上に共生させることを試みる「対局主義」を提唱し、作品群の中に色濃く反映させてきました。対局主義に満ちた彼の作品は、粗く言えばどれも異様で不気味、とてもきれいなものとは言えません。見る人が見れば「いやな感じ!」とさえ思うこともあるでしょう。しかし、彼はその不快感こそが真の芸術に宿るものだと言主張します。

「人間の、ほんとうに燃えている生命が、物として、対象になって目の前にあらわれてくれば、それは決して単にほほえましいものではない。心地よく、いい感じであるはずがない。」(岡本, 2017, p.198)

「自分の中に毒を持て」というタイトルからは、彼が人生や人間をどう見ていたかを垣間見ることができます。彼の作品と対峙することで、我々はきれいの中にまとまっていることを中断し、矛盾だらけで目を背けたくなるような本質と向き合わざるを得ません。その本質をごまかさずに正面から受け止め、それでも自分をとことん押し通す。岡本は、この営みこそが人生をひらくのだと説きます。

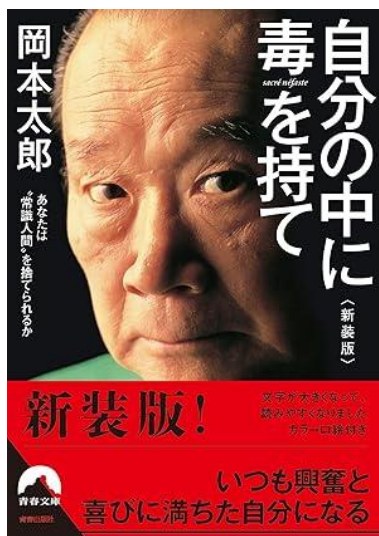
「自分の人生なんだから、信じたものを突き通してやればいい」と言うのはたやすいですが、実際に行うのはとても難しいです。しかし、岡本は最期まで「岡本太郎」であり、我々には到底想像もつかないような絶望や反発と火花が散るほどぶつかりながら自分を貫き通しました。私自身を振り返ってみれば、かなり不器用で非効率的ともいえる生き方をしてきたように思います。それが嫌で、近年は周りを気にして上手にきれいにまとまるようになってきている自覚があります。確かにそんな生き方が「望ましい」のかもしれませんが、私の人生は誰のものなのでしょう。岡本が人生を通して社会に打ち出したマインドは、少しでも自分の中に持っておこうと思っています。



以上、長々ととりとめのない小稿をここまで読んでくださった方におきましては、2つの意味で深謝させていただきたい所存でございます。散逸した内容で恐縮ですが、着任の挨拶とさせていただきます。至らぬ点もあるかとは思いますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



『カラスは飼えるか』  
松原始 著



『自分の中に毒を持って』  
岡本太郎 著

## ご推薦本：『運を育てる ―肝心なのは負けたあと―』

米長邦雄 クレスト新社 1993 年7月

一般科目文科 栢山 剛

2025 年度より、国立鳥羽商船高専からや  
って参りました栢山剛(鹿児島県出水市出身)  
と申します。実は5年前まで、都城市に住ん  
でいました。家族構成は宮崎県串間市出身の  
妻と、都城市立沖水中卒の長男と中1までこ  
こで過ごした次男の4人家族です。(2人の子  
供たちは、三重県伊勢市の高校を卒業した  
後、現在、京都市内の同じ大学に通ってい  
ます。)



私自身、大学時代に落語研究会と将棋部に所属しておりまして、宮崎市内の  
高校でも 10 年間将棋部顧問を務めた時期もありました。その他、宮崎県内のアマ  
将棋大会で、優勝1回、準優勝3回、などを経験させていただきました。その将棋に  
焦点を当てて、私にとって将棋だけでなく、すべての勝負事のバイブルともいえる  
一冊の本を今回ご紹介させていただきます。何かのご参考になれば幸いです。

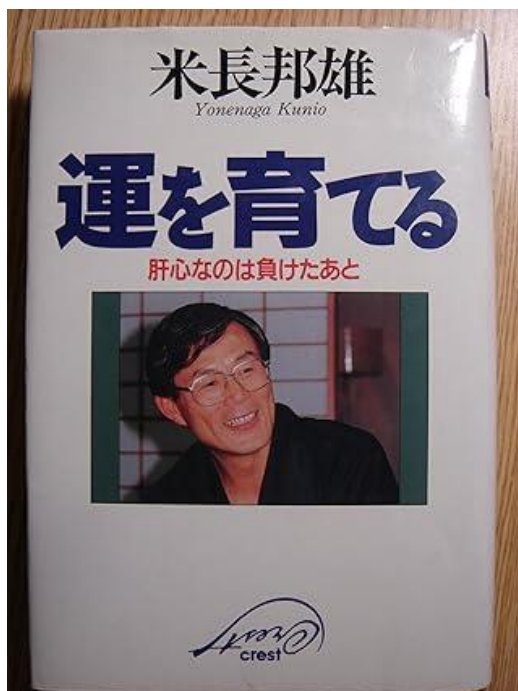
この本は、著者米長邦雄(1943-2012)の勝負勘から導き出された勝利の方  
程式である。この本では、勝負事はもとより、日常生活においても「女神」に愛され  
るために行動することが大切であるとしている。何か宗教的な話に聞こえるが、要  
は「女神」の存在を信じた先に、丁寧に行動するとか、通す筋は通すとか、とるべき  
行動を適切にとることで、よりよく生きる術が自然と身につくということなのだろ  
う。スピード感あふれる現代を生き抜くためには、じっくりと腰を据えて、「女神」に  
愛される行動を心掛けたいものである。

一方、将棋は麻雀などに比べて、運の要素がない論理的なゲームと言われてい  
るが、米長氏は、この本の中で『運を育てる』というタイトル通り、運の要素をとて  
も大切にしている。特に、女運、勝利の女神にどうやって好かれるかが詳細に説明  
されており、含蓄を含みながらもウィットに富んだ記述で、自然と入り込んでしま  
う。

また、『幸運の女神』に好かれるためには、人生の処世術からの考察から、宗教的  
世界を含む内容まで、運を育て、成長させて、強くする方法がこの本の中で述べら  
れているが、人生を歩むうえで、とても合理的な考え方でもあり、将棋名人位への

7度目の挑戦でようやく 50 歳にして名人になれた米長氏の生き方から多くのことが学べると思う。実は、この米長氏は、性格的にも面白い人物であった。その端正な顔立ちと爽やかな性格に反して、「泥沼流」と呼ばれる逆転劇に定評のあった棋風でも知られている。この本は、また、プロ棋士になって以来過去6度も名人戦の挑戦者になりながらも名人位につけなかった米長氏が、勝負師として「勝利の女神に好かれるためのノウハウ」を記したものである。

最後に、この本の内容を端的に結論づけるとすれば、本の途中に出てくる『勝利の女神は謙虚さと笑いを好みます。』というこのフレーズこそ、米長氏が強調したかった点である。また、『惜福』という言葉は、米長氏の座右の銘の一つだったそうだが、明治の文豪、幸田露伴は、その著書『努力論』の中で、運命と幸福について次のように述べている。「幸福に遭遇する人の多くは、『惜福』の工夫がある人であって、悲運の人のほとんどは、その工夫のない人である。『惜福』とは、文字通り、福を惜しむことで、自分に訪れた幸福のすべてをひとりで享受してしまわず、後に残しておく。」という意味である。『惜福』の工夫のない人というのは、自分に訪れた幸運をその場ですべて使い切ってしまう。つまり、「自分はこんなにもついている。」と調子に乗ってしまうことは、勝利の女神が好む『謙虚さ』とは真逆の行いである。むしろ、周囲から「なぜもっとガンガン踏み込まないのか」と見られるくらいの人の方が、勝利の女神には「謙虚」に映る。つまり、これが「惜福」の工夫のある人であろう。



運を育てる―肝心なのは負けたあと―  
米長邦雄 著



# BOOK HUNTING 2025

今年は霧島市の書店にてブックハンティングを実施することができました。

## 【活動の目的】

学生のニーズに即した書籍を直接購入し、本校図書館の学生用図書  
の更なる充実を図ること、併せて学生図書委員が多くの新刊の書籍  
に触れることを通じて、書籍に対する知識・見聞を深めること。

2025年6月14日(土)、12名の図書委員が TSUTAYA BOOKSTORE  
霧島店にてブックハンティングを行いました。委員全員で店内を探  
し回り、専門書、小説、ライトノベルなど多岐にわたるラインナップ  
の147冊の本を選びました。どうぞ図書館で手に取ってご覧ください。



参加した図書委員のみなさん。  
当日選書した本とともに店内にて。



選書した本は、BOOK HUNTING コ  
ーナーに置いてあります

## 図書委員による、夏のオススメ ブックレビュー

今回この図書館だより97号の編纂に携わった図書委員からこの夏に是非読んで欲しいイチオシの本を紹介いたします！

どんな本を読めばいいか迷っている、新しいジャンルの本を読んでみたいそんな時のご参考になれば幸いです！

### 有川浩『塩の街』

塩害というものをご存じでしょうか？建物や農作物に塩が付着し、悪影響を及ぼす現象です。それがもし、人間にまでにも影響し、最後には塩の像となってしまおうとしたら。そんな世界線のお話です。「図書館戦争」や「旅猫リポート」でもよく知られる有川浩の描く、変わってしまった世界で必死に生きる少女の成長とささやかなラブストーリー。夏の夜のお供にいかがでしょうか。

(5C 佐々木 晟真)

### 星新一『ボッコちゃん』

星新一の短編集『ボッコちゃん』は、SF（サイエンス・フィクション）の要素と風刺が巧みに組み合わさった、とても読みやすく深い作品集です。どの話も短く、数ページで完結するため、通学中やちょっとした空き時間にも読むことができるのが魅力です。表題作「ボッコちゃん」は、バーに置かれた美人のロボットが淡々と接客する話ですが、読後には「人間らしさとは何か」「感情とは何か」といった哲学的な問いを考えさせられます。登場人物はどこか冷たく無機質に見えるのに、それがかえって現代社会の人間関係の希薄さを象徴しているように思えます。他の作品でも、未来の社会や技術をテーマにしつつ、そこに生きる人間の欲望、ずるさ、そして滑稽さが描かれています。どの話もオチが鋭く、「えっ、そうなるの？」と驚かされるこ

とが多く、飽きずに読み進められます。高校生にとって、この本は単なる「おもしろい SF 作品集」ではなく、「物事を違った角度から見る力」や「短い中に深い意味を見出す力」を鍛えるきっかけになると思います。現代の技術や社会のあり方に疑問を持ったとき、星新一の世界観は、それを考えるヒントをくれるはずです。

(5A 西脇 颯汰)

## 浅倉秋成『六人の嘘つきな大学生』

この作品は、就活活動の最終選考に残った六人の大学生が、一通の通告文によって疑心と対立に追い込まれていく心理ミステリーです。仲間だったはずの彼らが敵になっていく過程はスリリングで、張り巡らされた伏線とラストのどんでん返しに驚かされます。就活という現代的な舞台を通して、人間の本性や弱さがあぶり出される、緊迫感あふれる一冊です。

(4C 山内 寧色)

## 河野裕『いなくなれ、群青』

独特な言い回しと世界観で詩を読んでいるような気分。自分は何故ここにいるのか、青春に織り交ざるミステリーが、どこか異世界に迷い込んだような感覚を感じさせます。テンポよく読めて、気が付けば時間が過ぎているなんてこともしばしばありました。この本はシリーズものですが、気にせず楽しめると思うのでぜひ読んでみてください。

(4E 東 征吾)

## 桃戸ハル「5分後に意外な結末」 麻希一樹「悩み部の結成とその結末。」

小中学生でも読めるくらいの明快さで様々なストーリーを短編で読むことのできる「5分後に意外な結末」、「悩み部の結成とその結末」

を今回購入していただきました。短いながらも感動したり笑ったり自分の人生について考えられるような作品ばかりで、読んでいくと意外な結末に驚愕すると思います。ぜひ自分のお気に入りの物語を探してみてください。

(2C 宇藤山 碧)

## 佐伯さん『お隣の天使様にいつのまにか駄目人間にされていた件』

生活力皆無の主人公がひよんなことをきっかけに、隣に住む通称『天使様』と交流を始める。そんな、不思議な繋がりから始まる2人の恋の物語です。ラブコメとしても面白く、読んでいるうちにじれったくなってしまうような、優しい世界観に惹き込まれる、正真正銘の良作です

(1C 荒木 志龍)

## 川原 礫『ソードアート・オンライン』

これはゲームオーバーが現実の死を意味するゲーム《sao》にて奮闘する主人公達の物語です。

時代設定が2022年で、既に現実の時間で過ぎていました。当時は2022年にはこんなに技術が発展するんだなあ…なんて思っていたがそんなこと無かったです。

久しぶりに読み返すと味が更に出続ける素晴らしい作品です。何度読んでも7巻でボロボロ泣いちゃいます。一度読んだ方も、まだ読んだことの無い方も、今一度読んでみてはいかがでしょうか？

ブックハンティングでは初めての経験もありながら、友達と協力して無事終わることができました。予算の範囲内でできるだけ沢山の人の手に読んでもらえる本を選ぶのが難しくもあり楽しかったです。普段本を読まない人でも気軽に手に取って少しずつでも読み進めて、最終的に一冊でも読み終われる人が増えることを願います。貴重な体験を本当にありがとうございました！

(1M 樽園 泰弥)



# 【夏読書のすゝめ】

## 図書館利用アンケートの実施

6/22～6/25 の期間に図書館利用についてのアンケートを実施いたしました。

【回答数：82 件】

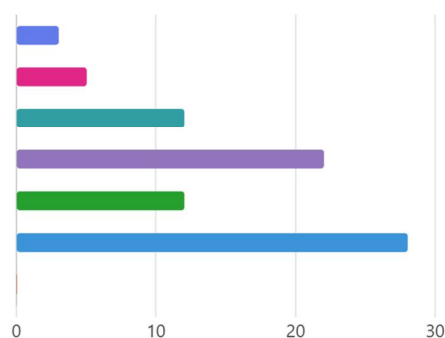
ご協力、大変ありがとうございました。

今後の図書館利用や、より豊かな読書生活へ繋がるように活用させていただきます。

### 【アンケート結果】

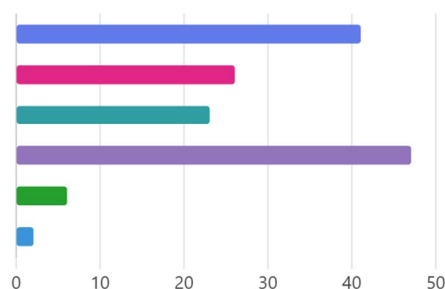
1. 図書館にはどのくらい行きますか？

|            |    |
|------------|----|
| ● ほぼ毎日     | 3  |
| ● 週に2～3回   | 5  |
| ● 週に1回     | 12 |
| ● 月に2～3回   | 22 |
| ● 月に1回     | 12 |
| ● ほとんど行かない | 28 |
| ● 行ったことがない | 0  |



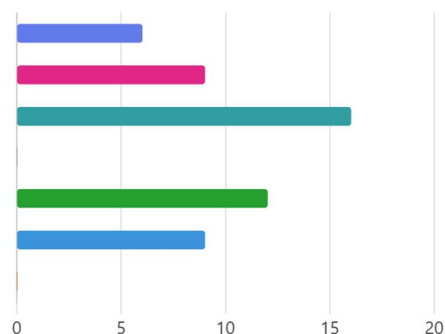
2. どういう目的で図書館を利用しますか？複数回答可

|                |    |
|----------------|----|
| ● 本を借りるため      | 41 |
| ● 本を読むため       | 26 |
| ● 学習の調べものをするため | 23 |
| ● 勉強するため       | 47 |
| ● なんとなく        | 6  |
| ● その他          | 2  |



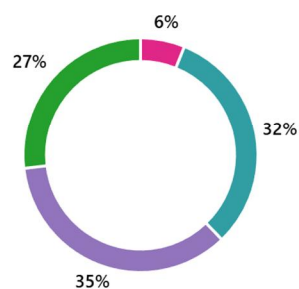
3. 質問1で(ほとんどいかない)と答えた方のみ図書館を利用しない理由で当てはまるものはありますか？複数回答可

|               |    |
|---------------|----|
| ● 図書館が遠い      | 6  |
| ● 読みたい本が少ない   | 9  |
| ● 図書館に行く時間がない | 16 |
| ● 開館時間が短い     | 0  |
| ● 本は自分で買っている  | 12 |
| ● 読書に興味がない    | 9  |
| ● その他         | 0  |



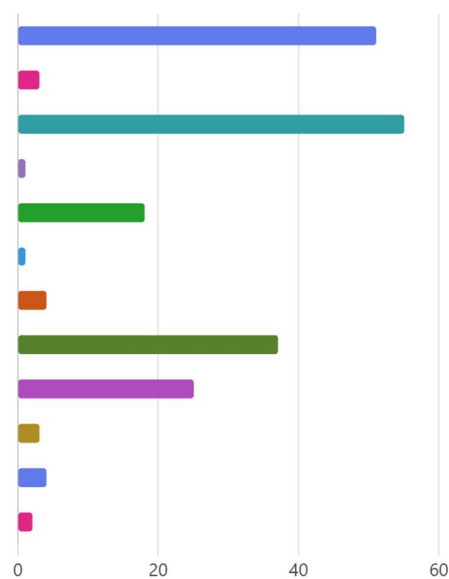
4. 図書館で1か月にどのくらい本を借りますか？

|            |    |
|------------|----|
| ● 10冊以上    | 0  |
| ● 9~5冊     | 5  |
| ● 4冊以下     | 26 |
| ● ほとんど借りない | 29 |
| ● 借りたことがない | 22 |



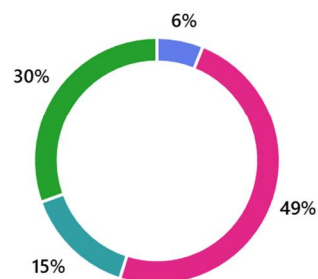
5. 図書館の様子はどうか？複数回答可

|                      |    |
|----------------------|----|
| ● 使いやすい              | 51 |
| ● 使いにくい              | 3  |
| ● 静か                 | 55 |
| ● 騒がしい               | 1  |
| ● 明るい                | 18 |
| ● 暗い                 | 1  |
| ● わからない              | 4  |
| ● 落ち着いて過ごせる          | 37 |
| ● 夏はエアコンが効いていて過ごしやすい | 25 |
| ● 夏は冷房が効きすぎて少し寒い     | 3  |
| ● 暑い                 | 4  |
| ● その他                | 2  |



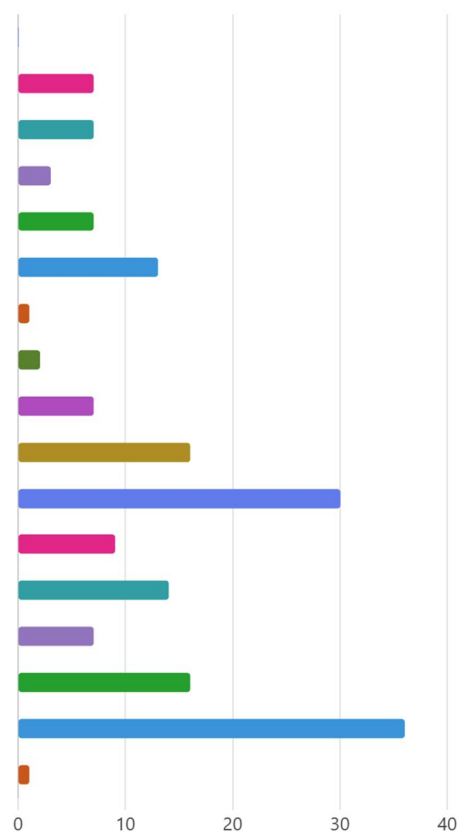
## 6. 読みたい本や必要だと思う本が図書館に揃っていますか？

|             |    |
|-------------|----|
| ● 揃っている     | 5  |
| ● だいたい揃っている | 40 |
| ● あまり揃っていない | 12 |
| ● 揃っていない    | 0  |
| ● わからない     | 25 |



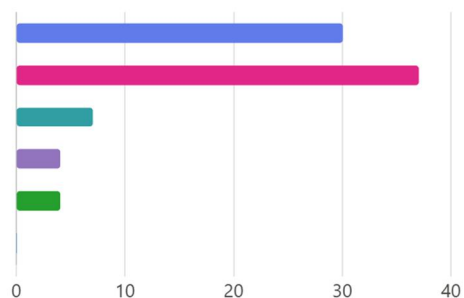
## 7. 今後充実してほしいジャンルの本はありますか？複数回答可

|                        |    |
|------------------------|----|
| ● 00総記                 | 0  |
| ● 10哲学                 | 7  |
| ● 20歴史                 | 7  |
| ● 30社会科学               | 3  |
| ● 40自然科学               | 7  |
| ● 50技術工学               | 13 |
| ● 60産業                 | 1  |
| ● 70芸術美術               | 2  |
| ● 80言語                 | 7  |
| ● 90文学                 | 16 |
| ● マンガ                  | 30 |
| ● 雑誌                   | 9  |
| ● TOEIC、TOEFL新方式に関するもの | 14 |
| ● 旅行記                  | 7  |
| ● 音楽                   | 16 |
| ● 小説                   | 36 |
| ● その他                  | 1  |



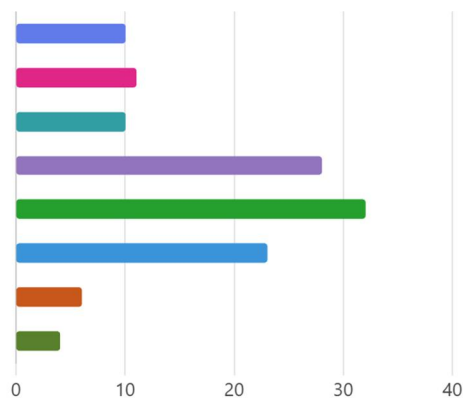
## 8. 本を読むことは好きですか？(マンガ、雑誌等含む)

|            |    |
|------------|----|
| ● とても好き    | 30 |
| ● 好き       | 37 |
| ● どちらでもない  | 7  |
| ● あまり好きでない | 4  |
| ● 嫌い       | 4  |
| ● わからない    | 0  |



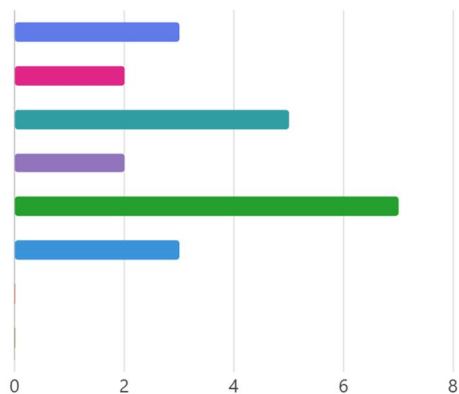
## 9. 質問1で「とても好き」「好き」と答えた方へ、きっかけはありますか？複数回答可

|                         |    |
|-------------------------|----|
| ● 小さい頃の読み聞かせで本に興味を持ったから | 10 |
| ● 本を読むことをすすめられたから       | 11 |
| ● 本を好きな人に影響を受けたから       | 10 |
| ● 書店や図書館によくいったから        | 28 |
| ● 身近に本があったから            | 32 |
| ● 素晴らしい本に出会ったから         | 23 |
| ● わからない                 | 6  |
| ● その他                   | 4  |



## 10. 質問1で「あまり好きでない」「嫌い」と答えた方へ、なにか理由はありますか？複数回答可

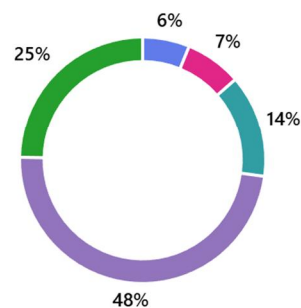
|                           |   |
|---------------------------|---|
| ● 楽しくないから                 | 3 |
| ● 本よりテレビ、DVDをよく見るから       | 2 |
| ● 読むのが大変だから               | 5 |
| ● インターネット、スマホのほうが楽しいから    | 2 |
| ● 本を読む習慣がないから             | 7 |
| ● 本を読まなくてもほかの媒体で情報を得られるから | 3 |
| ● わからない                   | 0 |
| ● その他                     | 0 |





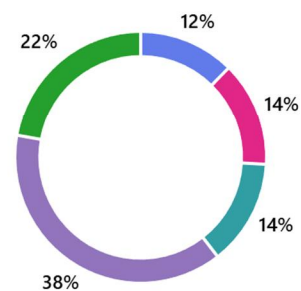
11. 月に何冊くらい読みますか？

|            |    |
|------------|----|
| ● 10冊以上    | 5  |
| ● 7~9冊     | 6  |
| ● 4~6冊     | 11 |
| ● 1~3冊     | 39 |
| ● ほとんど読まない | 20 |



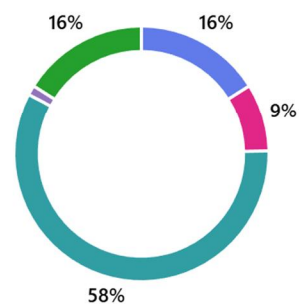
12. どのくらいの頻度で本を読みますか？

|            |    |
|------------|----|
| ● ほぼ毎日     | 10 |
| ● 週に3~4回   | 11 |
| ● 週に1回     | 11 |
| ● 月に数回     | 31 |
| ● ほとんど読まない | 18 |



13. どの本をよく読みますか？

|         |    |
|---------|----|
| ● 学校図書館 | 13 |
| ● 図書館   | 7  |
| ● 自分の本  | 47 |
| ● 友人の本  | 1  |
| ● アプリ   | 13 |



14. この夏に読んでみたい本はありますか？

- ・ たった一つの冴えないやり方
- ・ アリス殺し
- ・ 雪国
- ・ 向日葵の咲かない夏
- ・ 変な家
- ・ 殺人鬼フジコの衝動
- ・ 斜陽

- ・成瀬は天下を取りに行く
- ・東野圭吾
- ・スロウハイツの神様
- ・愛する時と死するとき
- ・警視庁追跡捜査係シリーズ
- ・長文英語の本
- ・獣の奏者
- ・1年目を生き抜く 動物病院サバイバルノート
- ・最新 世界の犬種大図鑑：原産国に受け継がれた犬種の姿形 430 種
- ・恋に至る病
- ・ミステリー小説

15. この夏におすすめしたい本はありますか？

- ・偽物語
- ・量子力学と私(朝永振一郎)
- ・向日葵の咲かない夏/道尾秀介
- ・夏の庭
- ・優しさを忘れぬうちに
- ・あわいの力 -心の時代の次を生きる- 安田登 (著)
- ・マッチング
- ・人間失格
- ・成瀬は天下を取りに行く
- ・さよならの言い方なんて知らない
- ・あと少し、もう少し
- ・6人の嘘つきな大学生
- ・世界の中心で愛を叫ぶ
- ・フランツ・カフカの「変身」と「審判」
- ・夢をかなえるゾウシリーズ
- ・絶叫学級
- ・最新 世界の犬種大図鑑：原産国に受け継がれた犬種の姿形 430 種
- ・夏へのトンネル、さよならの出口

改めましてアンケートのご協力、大変ありがとうございました。

特に、皆さんからの読みたい本、お勧めの本についての中には、自分が気になっているものもあるかもしれません。

5年或いは7年間もの長い学校生活の中で出会った本や、ふと読み返したくなる本はありますでしょうか。本校図書館には専門書のみならず多くの文学作品が所蔵されております。工学分野において、図面の引き方や実験精度を上げるだけでなく、それらを活用するアイデアや、誰かに正確に伝える為には分野横断的な知識と豊富な想像力が必要不可欠です。課題やレポートに追われる忙しい日々ではありますが、是非この夏の長期休暇に多くの本に触れ、より広い視野で後期に挑むことが出来れば幸いです。

## 編集後記

3C 久保 楼生

蒸し暑い日が続き、そろそろ涼しくなってもいいのでは？と思ってしまうような日々ですが、皆様どうお過ごしでいらっしゃいますか。都城高専の「図書館だより」の PDF を開くのみならず、この編集後記までどり着くような皆様は素晴らしいと感じますが、そんな皆様は今どんな数式に見惚れているのでしょうか？どんな構造式に感動しているのでしょうか？どんな建築物に心奪われているのでしょうか？どんな機構に興奮しているのでしょうか？

さて、昨今ミステリーというジャンルは人気があり、ドラマや映画、ゲームなどでよく扱われるものですが、最近推理小説が下火になっているように私には感じられるのですが、それは何故なのでしょう？理由の一つとしては小説という媒体にすることに原因があるとかいう見方があります。小説は漫画やアニメとは違ってイラストや写真などで風景が決定されないから自分の頭で世界を思い浮かべないといけないのですが、それが登場人物への共感になりやすいので、物語に入り込むことができる、没入体験ができることが本という媒体の一番の利点です。一方、推理小説は、登場人物に共感してはいけないのが売りなので、本末転倒なのです。

しかし、最近はミステリー小説の中にもキャラ小説だったり、犯人に悲しい過去があったり、色々な共感の持たせ方で推理小説の地位を維持していますが、それも本格推理小説好きの方にとっては邪道なのだといわれる側面もありますね。何が言いたいかというと、小説の方も皆様に寄り添うように形を変えてきたのだから、私たちも少しは小説に対する偏見を緩和させようということなのです。字を読むのは億劫だとか時間がないんだとかいう前に、ライトノベルでも Web 小説でもいいから、読んでみませんか。自分たちで描く世界ほど楽しいものはないし、他人の人生ほど面白いものはないというのが私の考えです。騙されたと思って、一冊、いや短編集の一話でいいのだ。読んでくれないだろうか。今回の「図書館だより」のメインであるブックハンティング。図書委員が読んで欲しいと思って選んだ、と思う名作ばかりです。その中から本を好きになるきっかけを見つけてみてはどうでしょうか。

そういえば、今回の表紙の写真、撮ったの私です！！